

ファミリーハウス

オーナー紹介



ファミリーハウスあんどろ

札幌市白石区菊水一条四丁目

安藤 妙子さん



■運動に参加されたきっかけは？

主人が脳梗塞になり言語障害で昼夜の付き添いを経験しました。病院の床に毛布を敷き毎日の付き添いで私も体調を崩してしまいました。悲しい思い出です。主人が旅立って三年後にファミリーハウスの発足を新聞で知りました。そのことをきっかけに参加することになりました。

■オーナーとして嬉しいと感じるときは？

自宅を離れて看病されるご家族の苦しみは自分が経験してわかるので、親切にするようにしています。無事退院されるときのご家族の嬉しい顔で挨拶されるときは私も嬉しくなります。この仕事をしよてよかったです。

■苦労されるときは？

冬期間の一月、二月は特に水道が凍結しないよう、なるべく留守をしないようにしています。



ファミリーハウスには、ホテルなどの企業が社会貢献として低価格で部屋を提供する方式と、個人（オーナー）がボランティアとしてマンションやアパートの空き部屋を提供する方式に大別されます。このコーナーでは、ファミリーハウス運動をご理解いただくために、長年にわたり個人で運動に参加されているオーナーを紹介いたします。皆さんには①運動に参加されたきっかけ②オーナーとして嬉しいと感じるとき③苦労されるとき・・・などについて伺いました。

■利用者の方へPRを！

利用される方でファミリーハウスの存在を知らない方が多いようです。地下鉄と国立がんセンターに近く便利です。大勢の方知っていただきたいと思ひます。



ナムズビル

札幌市中央区北四条西十三丁目

中村 ふくみさん

■運動に参加されたきっかけは？



新聞でファミリーハウスのことを知り、平成十五年から大家として参加しています。多くの皆さんのお役に立てるよう頑張っています。

■オーナーとして嬉しいと感じるときは？

患者さんとご家族ともに元気になりお帰りになるときはとても嬉しく思ひます。病気の内容はお聞きませんが、定期的に通院・入院する方が多いようです。「また来年来なければならぬので」「またお世話になります」・・・とリピートされる方がいます。お役に立てれば嬉しい限りです。

■苦労されるときは？

利用者の方で急に電話してくる方がいます。また病院でファミリーハウスのことを知り、「今日だけ利用したい」「二三日だと思ひたい」など、仕組みを理解されていない方もおられます。それも仕方ないと思ひます。地方から来て、診断結果後に考えなくてはならない場合もあると思ひます。ご自分もどうして良いかわからない様子の方もおり、空気がなくお断りする場合は心苦しい思ひです。



■利用者の方へPRを！

当マンションは札幌医大病院・北大病院・札幌市立病院・NIT東日本病院などに近く便利です。市内中心部にありますが、静かな地域で交通の便も良いところだす。室内には日常生活ができるよう準備してあります。マンションのような意識でご利用ください。

なお、ファミリーハウスはホテルではありませんので、利用に関してはご自宅同様、自己責任で事故のないようにしてご利用ください。

ファミリーハウスご利用の方は

事務局までご連絡ください

